

**近畿地方交通審議会
近畿船員部会議事録**

第188回

令和6年5月22日

日 時 令和6年5月22日（水） 16時00分から

場 所 近畿運輸局 会議室（船員部会室）

出席者 公益委員 横見委員、定岡委員、三輪委員（欠）、
安達委員

労働者委員 浦委員、佐藤委員、坂上委員

使用者委員 磯合委員、土屋委員、開委員

運 輸 局 岩佐海事振興部長、三浦海事振興部次長、
土本船員労政課長、矢野船員労政課専門官、
衣川船員労働環境・海技資格課長

議題1．管内の雇用等の状況について

議題2．その他

議 事 概 要

横見部会長：

それでは、ただ今から第188回近畿船員部会を開催いたします。

あらかじめお配りしております「第187回船員部会」の議事録につきまして、ご承認をお願いしたいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なし)

横見部会長：

無いようですので、ご承認をいただいたものとして取り扱わせていただきます。

それでは、議題1の「管内の雇用等の状況」について、運輸局からご説明をお願いいたします。

土本船員労政課長：

それでは「令和6年4月分管内雇用状況」につきまして、ご説明させていただきます。

1. 職業紹介状況

①求人関係

新規求人数は、51人（前月比－6人、10.5%の減、前年同月比：－71人、58.2%の減）となっています。

月間有効求人数は、130人（前月比－26人、16.7%の減、前年同月比：－71人、58.2%の減）となっています。

②求職関係

新規求職者数は、17人（前月比0人、増減なし、前年同月比：－7人、29.3%の減）となっています。

月間有効求職者数は、37人（前月比＋7人、23.3%の増、前年同月比－22人、37.3%の減）となっています。

③成立状況

当月の成立数は、3人（前月比：-2人、40.0%の減、前年同月比：-3人、50.0%の減）となっています。

④職員・部員別成立者内訳

職種別の内訳は、甲板部職員1人、機関部職員1人、甲板部部員1人、機関部部員0人、事務部部員0人となっています。

年齢別については、10歳代0人、20歳代0人、30歳代1人、40歳代0人、50歳代0人、60歳代2人、70歳代0人となっています。

2. 新規求人・求職者の取扱実績

①職種別内訳

新規求人の職種別内訳は、職員41人（甲板部24人、機関部17人、無線部0人、事務部0人）、部員10人（甲板部7人、機関部1人、無線部0人、事務部2人）となっています。

新規求職の職種別内訳は、職員10人（甲板部9人、機関部1人、無線部0人、事務部0人）、部員7人（甲板部5人、機関部0人、無線部0人、事務部2人）となっています。

②新規求職者の退職理由

内訳は、船舶所有者の都合が1人、定年退職0人、雇用期間満了1人、本人の申し出6人、自己の健康0人、倒産0人、就労中3人、不明6人となっています。

③新規求職者の年齢別

30歳未満5人、30歳代4人、40歳代3人、50歳代3人、60歳以上2人となっています。50歳以上は5人で占める割合は29.4%、30歳未満は5人で占める割合は29.4%です。

3. 失業等給付金支給状況

当月末の受給資格者数は8人で、基本手当の支払実人数は0人、給付件数は0件となっています。給付金額は0円です。前月は1人、1件の25,470円でした。

それから、高年齢求職者給付金が0件0円、再就職手当が0件0円、就業促進定着手当が0件0円によって、当月支給額計は、0円となります。

4. 月間有効求人倍率の推移

4月の近畿船員は3.51倍で、前月比-1.69ポイント、前年同月比、-0.24ポイントとなっています。

5. 近畿運輸局、月間有効求人・求職状況

①月間有効求人は130人で、このうち、新規求人者数は51人となっています。

当局の紹介による求人側の成立は0人、他局成立は0名でございました。求人の取り消しは50人で、理由の内訳は有効期限切れ49人、自己応募・縁故により採用0人、会社都合により取り下げ1人、その他は0人となっています。

②月間有効求職者は37人で、前月との差は+7人でした。

当局の紹介による求職側の成立は0人、他局成立は3人でした。求職の取り消しは9人で、理由の内訳は期限切れ5人、自己応募・縁故により採用1人、自己都合により取り下げ3人、その他0人となっています。

6. 全国運輸局別の有効求人、有効求職、成立数、有効求人倍率

①3月の全国の月間有効求人数は、3,099人で、前月比97.4%、前年同月比は90.9%となり、311人減少しています。

②3月の全国の月間有効求職数は、718人で、前月比100.3%、前年同月比79.8%となり、182人減少しています。

③ 3月の全国の成立数は、56人で、前月と同数、前年同月比では71.8%となり、22人減少しています。

④ 3月の全国船員の有効求人倍率は季節調整値により4.41倍となっています。3月の全国陸上は季節調整値により1.28倍となっています。

以上が管内の雇用等の状況でございます。

横見部会長：

ご説明ありがとうございます。

資料1、2、3について何かご質問等ございますでしょうか。

横見部会長：

無いようですので、それでは、次に議題2の「その他」に入ります。

運輸局の方から説明をお願いします。

三浦海事振興部次長：

資料4を説明申し上げます。

まず、日本内航海運組合総連合会が出典している令和6年3月分の内航海運の輸送動向調査の結果になりますが、貨物船と油送船を合計した輸送量は前年同月比93%となっております。

前年同月よりも低気圧の発生が多く見られて避難等の輸送障害の頻度が増したようです。

貨物船は、鉄鋼、燃料（石炭、コークス）、紙・パルプが増加となった一方で、原料、雑貨、自動車、セメントは減少となったようです。

油送船は、全ての品目において前年同月の輸送水準を割り込んだ結果となったようです。

3月の貨物船の輸送量は、前年同月比94%、前月比110%となっています。

鉄鋼は 前年同月比 103%であり、低気圧通過の多さから輸送障害の影響が顕著に表れたようですが、前月同様に前年同月の鉄鋼の輸送量が低水準であったため反動増となっているようです。

原料は前年同月比 93%。スラグは今月も反動増が見られている一方で、石灰石、非金属鉱、金属鉱等の減少が原料全体を押し下げているようです。

燃料は前年同月比 123%。石炭需要の高まりから燃料全体で大きく増加した一方、コークスは減少しているようです。 紙・パルプは前年同月比 104%。木材のバイオ燃料向け需要の旺盛な輸送が見られたようです。

雑貨は前年同月比 95%。

自動車は前年同月比 84%。一部メーカーの不正問題に伴う工場稼働停止も工場稼働の再開から、2月下旬より輸送面においても徐々に回復しつつあるようです。

セメントは前年同月比 86%。セメントの販売量は全国的に低調となり輸送も減少傾向で推移しているようです。

続きまして、油送船の輸送量ですが、前年同月比 92%、前月比 100%となっています。

黒油は前年同月比 90%。暖冬による気温の上昇により低い水準となっているようで、

白油は前年同月比 92%。好調が継続していたジェット燃料油の販売数量の減少や、気温が高温で推移したため灯油の需要は低く推移したようです。ケミカルは前年同月比 89%であり、販売数量の伸び悩みなどにより低調に推移しているようです。

それでは4ページ以降、貨物ごとの状況です。3月の欄と対前月の欄をご覧ください。

鉄鋼ですが、 前年同月比で 102.6%、前月比では 106.3%

原料は、 前年同月比で 93.1%、前月比では 102.8%

燃料は、 前年同月比で 122.8%、前月比では 95.3%

紙・パルプは、前年同月比で 104.2%、前月比では 117.2%

雑貨は、前年同月比で 94.6%、前月比では 109.5%
自動車は、前年同月比で 84.4%、前月比では 132.5%
セメントは、前年同月比で 85.8%、前月比では 101.6%
貨物船全体の輸送量は、1,717万6千トンで前年同月比で93.7%、
前月比では109.6%となっています。

黒油（こくゆ）は、前年同月比で 89.9%、前月比では 100.7%
白油（はくゆ）は、前年同月比で 92.3%、前月比では 100.0%
ケミカルは、前年同月比で 89.3%、前月比では 100.8%
一般タンカーの輸送量は、742万トンで前年同月比で 91.4%、前
月比では 100.2%となっています。

続きまして、

高压液化は、前年同月比で 93.9%、前月比では 96.8%
高温液体は、前年同月比で 96.6%、前月比では 100.0%
耐腐食は、前年同月比で 91.1%、前月比では 105.7%
特タン船の輸送量は、101万4千トンで前年同月比で93.0%、前月比
では100.3%となっており、全てのタンカーの合計は、843万4千
トンで前年同月比で 91.6%、前月比では 100.2%となっています。

次に資料5、令和6年3月における長距離フェリーの輸送実績でございます。

3月の欄と、右のほうの対前月、対前年同月比のところをご覧ください。

まずは「トラック」ですが、

北海道方面では、10,656台で、前月比109.0%、前年同月比で
98.9%

北九州の新門司港では、34,259台で、前月比116.7%、前年同
月比で106.0%

中九州の別府・大分方面では、10,725台で、前月比119.8%、
前年同月比で94.9%

南九州の宮崎・志布志方面では、13,181台で、前月比106.3%、前年同月比で105.3%となっています。

次のページの「旅客」では、北海道方面では、8,980人で、前月比183.9%、前年同月比で116.4%

北九州の新門司港では、102,740人で、前月比165.0%、前年同月比で109.6%

中九州の別府・大分方面では、43,334人で、前月比152.3%、前年同月比で103.9%

南九州の宮崎・志布志方面では、34,569人で、前月比135.7%、前年同月比で102.5%となっています。

最後に、次のページの「乗用車」では、北海道方面では、3,509台で、前月比210.2%、前年同月比で107.3%

北九州の新門司港では、29,087台で、前月比141.8%、前年同月比で107.2%

中九州の別府・大分方面では、5,895台で、前月比170.9%、前年同月比で96.1%

南九州の宮崎・志布志方面では、8,995台で、前月比140.1%、前年同月比で88.4%となっています。

3月は、トラックの輸送実績は、北九州航路は増加傾向にありますが、その他の航路は、ほぼ横ばいになっている状況が見受けられます。

旅客の輸送実績は、増加傾向になっているようです。

乗用車の輸送実績は、北海道・北九州航路は増加傾向にありますが、その他の航路は、ほぼ横ばいになっている状況が見受けられます。

私からの説明は以上でございます。

横見部会長：

ありがとうございました。

それでは、資料4、5について何かご質問等ございますでしょうか。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に、事務局より報告事項がございますので、お願いします。

- ・ 船員労働災害防止優良事業者の令和6年度募集について

〔 衣川船員労働環境・海技資格課長（報告） 〕

横見部会長：

ありがとうございました。ただいまの件についてご質問はございますでしょうか。

横見部会長：

優良事業者認定証の有効期限が3年とありますが、3年を超える場合は更新されるのでしょうか。

衣川船員労働環境・海技資格課長：

有効期限が満了となる認定事業者は有効期限を更新することで引き続き優良事業者として認定されます。2級の事業者については、1級にステップアップして認定を受けられる事業者がほとんどです。

なお、1級認定後、継続して7年間認定されている船舶所有者には、船員安全推進賞が授与されます。

浦委員：

認定基準で災害・疾病発生状況が基準内とありますが、どのような基準ですか。

衣川船員労働環境・海技資格課長：

1級の例でいうと、認定申請日以前5年以内に、船員数100人以下であれば災害または疾病のために3日以上休業した船員数が1人以下、101人か200人までは2人以下・・・といった基準となります。

2級となると、認定申請日以前3年以内に、船員数60人までは1人以下、61人から130人までは2人以下・・・といった基準となります。

なおかつ、1級2級ともに、死亡または行方不明者がいないことが基準となります。

浦委員：

災害はともかく、高齢者の船員が多い状況であれば疾病発生件数も多くなってくると思われるのですが、どうでしょうか。

衣川船員労働環境・海技資格課長：

疾病のみの件数で見るとほとんどが新型コロナウイルス感染症ですので、高齢者数との関連はそれほどないかとおもいます。

横見部会長：

疾病の定義はありますか。

衣川船員労働環境・海技資格課長：

船員法111条で災害疾病発生状況の報告義務が定められており、船内での作業など業務上関係する場所で発生した災害・疾病が当てはまります。下船中に発生した病気は計上されませんが、新型コロナのように船内で感染が想定されるような感染症が当てはまります。

横見部会長：

ほか、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次に、船員政策や船員労働全般に関わる様々な問題について、ご意見や情報などございましたらご発言をお願いいたします。

では、まず労働者委員のほうから何かございますでしょうか。

佐藤委員：

内航の仮バース地について、以前も船員部会で話をさせていただいた仮バースの場所が足りないという話に加えて、港湾管理者への仮バース申請が平日業務時間内でないと申請できない状況があり、土日・連休前となると、事前にスケジュールを把握しておく必要があります。船種によっては、次の港の予定が前日に決まるといったことも多く、連休になると申請できないとなって非常に効率が悪い。自治体になるかと思うが、インターネット等休日でも申し込みできれば船員の休みも取りやすいのですが、改善いただけないでしょうか。

三浦海事振興部次長：

港湾局等に対して機会があればお伝えしたいと思います。

横見部会長：

はい、ありがとうございました。

ほか、労働者委員のほうから何かございますか。

浦委員：

海員組合の方で、今年に蒲郡市でフェリーをチャーターして小学生を対象とした体験乗船を企画しており、蒲郡市との打合わせの際に、中部運輸局が若手職員に港湾施設などのプレゼンをさせる機会を体験乗船中に作ってもらいたいという話があり、いい話なので是非協力させてもらう方向で進めてい

るところです。近畿運輸局ではそういったプレゼンを行うようなカリキュラム等がありますか。

岩佐海事振興部長：

出前講座等機会があれば職員が説明することはあります。全く知識のない若手職員がいきなり外部に向けてプレゼンというのは難しいので、まずは現場を知ってもらうために船に乗せて港湾の勉強をさせるということを企画しています。

土本船員労政課長：

小中学生を対象にした体験乗船等の出前講座では海の仕事全般について外部の講師に依頼して説明していただいたり、職員が説明したりといったことは行っております。

土屋委員：

自治体が開催するポートセールスなどは大規模に行われていて、さすがに若手ではなかったですが運輸局が講演する機会も多いです。

横見部会長：

体験乗船や出前講座は小学生だけが対象ですか。

浦委員：

中学生、高校生対象はあまりありません。小学生の早いうちに海・船のことを知ってもらうというところがあります。

岩佐海事振興部長：

中学生を対象とした出前講座もあります。港湾だけではなく物流施設見学を合わせたりなど、機会をみつけて働きかけをしています。

横見部会長：

はい、ありがとうございました。

ほか、労働者委員のほうから何かございますか。

それでは、使用者委員の方からいかがでしょう。

土屋委員：

海技学校に訪問した際に聞いた話ですが、本年度は3年生が30人定員中17人しかいないそうです。もともと定員割れだったみたいで、今の1年生と2年生は唐津海技学校がなくなる影響か30人の定員は充たしているようです。将来の船員関係学校への進学者増のためにも小学生に船の仕事のことをまず知ってもらうというのは重要かと思います。

横見部会長：

はい、ありがとうございました。

そのほか、公益委員の方からいかがでしょうか。

それでは、事務局の方からいかがでしょう。

・「輝け！フネージョ i n九州第2弾」動画について

〔 三浦海事振興部次長（PR紹介） 〕

横見部会長：

はい、ありがとうございました。

私も動画を見ましたが、船の仕事をするのに女性だからといって躊躇する理由は全くないといったことがよくわかるPR動画となっています。

こういった取り組みを進めて行くことで海事産業への女性進出、人手不足解消も進むのではと期待しています。

また、女性の方がなぜ海の仕事に就かれたのかをみると、小さい頃から海の近くに住んでいて船を見ていた、お父さんが船の仕事をしていたなど、小さい頃から船・海のつながり体験があって海の仕事を選んだ方が多かった印象です。

浦委員から体験乗船の話がありましたが、大事な取り組みと思っています。

ほか、何かございますか。

よろしいでしょうか。

それでは本日の部会は終了いたします。

次回は6月26日（水）16時00分からとなっておりますので、皆様よろしく願いいたします。

（配付資料）

資料1．令和6年4月分 近畿運輸局管内船員職業紹介実績表

資料2．令和6年4月分 月間有効求人・求職状況（近畿管内）

資料3．令和6年3月分 局別月間有効求人数（商漁船・職部員別）等

資料4．内航輸送実績状況（令和6年3月分まで）

資料5．長距離フェリー輸送実績の推移（令和6年3月まで）

資料6．船員労働災害防止優良事業者の令和6年度募集について